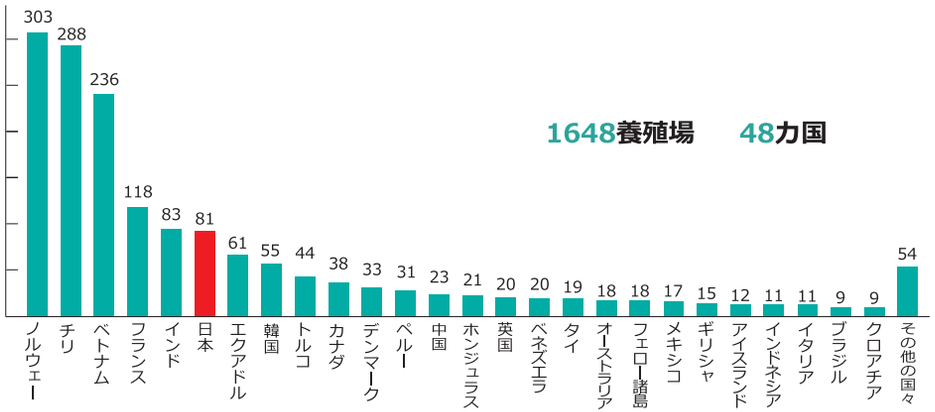
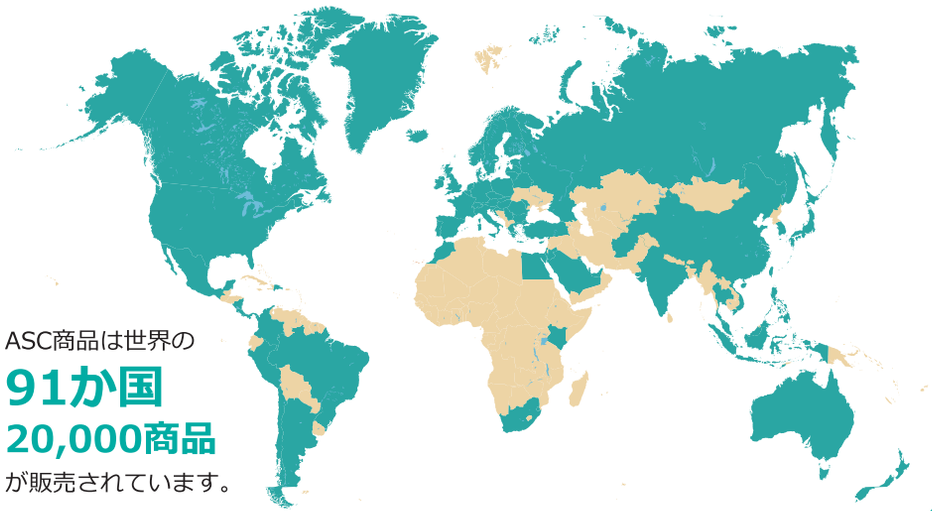
ASC認証取得した養殖場のある国々



2022年1月現在、世界48カ国1648カ所の養殖場がASC認証を取得しています。ASC養殖場の多い国は、ノルウェー（サーモン）、チリ（サーモンとムール貝）、ベトナム（主にパンガシウスとエビ）となり、日本もカキ・ブリ・カンパチ・ギンザケ・マダイなどの81の養殖場で世界第6位の取得数となっています。

ASC認証の商品が販売されている国々



ASC商品は世界の
91か国
20,000商品
が販売されています。

ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン
https://jp.asc-aqua.org/

FSC
www.fsc.org
ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C114747

asc

Aquaculture Stewardship Council

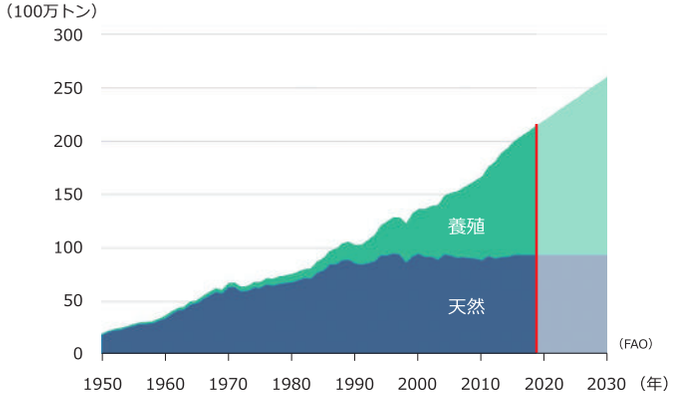
責任ある養殖により生産された水産物
asc
認証
ASC-AQUA.ORG
TM

責任ある養殖により生産された水産物

ASCとは？

ASC（Aquaculture Stewardship Council：水産養殖管理協議会）は、環境と社会に配慮した、責任ある養殖により生産された水産物を対象とする認証制度を運営しています。WWF（世界自然保護基金）とIDH（オランダの持続可能な貿易を推進する団体）の支援のもと、2010年に国際非営利団体として設立されました。

世界の水産生産量



現在、世界の水産物のおよそ半分は養殖によるものです。今後は世界のさらなる人口増加と生活水準の向上で、水産物の需要がさらに増加することが予想されています。天然の水産物の漁獲をこれから大幅に増やすことは難しく、今後増加する水産物の需要を養殖によって満たすことが期待されています。

養殖業の課題

養殖業は、海洋環境の悪化、エサとなる天然魚の利用による海洋資源への影響、養殖魚の逃避による生態系の乱れなど、環境に悪影響を及ぼすケースが少なくありません。また、労働条件や地域との関わりなど社会的な問題を抱えている場合もあります。

これらの課題を解決し、持続可能な形で養殖業を次世代へつなげるのがASCの認証制度です。

- 水質や海洋環境の汚染
- 薬剤の適切な利用（薬剤耐性菌のリスク）
- エサ原料の資源への影響
- 脱走魚の生態系への影響
- 適切な労働環境
- 地域社会との関係

ASCロゴとは

ASCロゴとは、環境と社会に配慮した養殖業を認証し、責任ある養殖により生産された水産物の印としてASCロゴを貼付して、マーケットや消費者の方に届けるためのものです。

CoC認証

CoC認証とは、加工・流通チェーン内でASC認証を取得した養殖業からの製品と非認証製品とを確実に分別するための仕組みです。ASCロゴの貼付を望む団体はCoC認証が必要です。また、認証を取得した供給業者から水産物を入手しなければなりません。これは、加工業者、卸売業者、レストラン、小売店など、サプライチェーンのそれぞれの過程に適用されます。

対象の養殖魚種

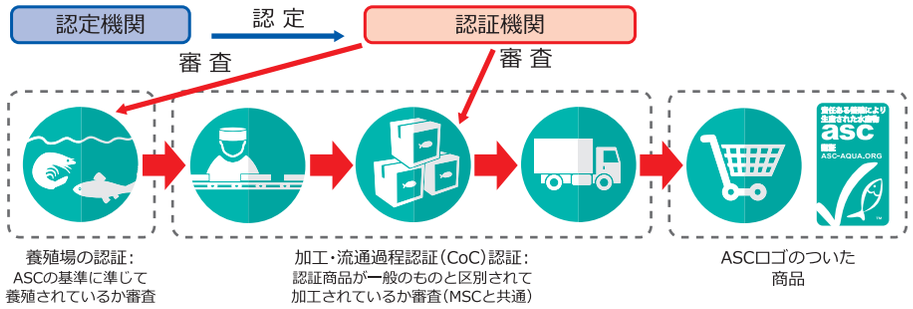
ASC認証の対象となっている魚介類は、サケ、ブリ・スギ、淡水マス、スズキ・タイ・オオニベ、カレイ目、熱帯魚類、ティラピア、パンガシウス、二枚貝（カキ、ホタテ、アサリ、ムール貝）、アワビ、エビ、海藻の１２魚種です。

＊MSCと共通

ASC認証の仕組み

ASC認証は魚種ごとに策定された基準に従って養殖場の審査が行われます。基準には海底の汚染指標、エサ原料となる天然魚の使用率、地域社会との関わりなど、細かな審査基準が設けられており、養殖場はこれらの項目を満たしていること証明する必要があります。

トレーサビリティ（製品がたどってきた経路を遡ることを可能にするための追跡）で非認証水産物との混同を防ぐために、養殖水産物の加工・流通の過程でもCoC認証審査が行われます。このような仕組みによるASC認証は、環境と社会に配慮した責任ある養殖により生産された水産物を、確実に消費者に届けることができるのです。これらの審査は、ASCとは完全に独立した民間の認証機関によって公平に行われています。また基準はもちろん、審査結果もすべて公開して透明性を確保しています。



ASC認証によるメリット

- 環境と社会に責任ある養殖で、次世代に繋げるビジネスモデルです。
- 養殖業の同業者、取引先、顧客との間でステイタスが向上します。
- 国内外に広く導入されている認証により、新しい市場へのアクセスを入手できます。
- トレーサビリティー（製品がたどってきた経路の追跡）が明確で安心な商品を提供します。
- CSR（企業の社会的責任）目標も満たされます。
- SDGs（国連が定めた持続可能な開発目標）の達成（１２番や１４番など）に貢献します。